

世宗学堂ジャーナル

「韓国の国楽」

李昌燮 先生
(チャング講座)

YouTubeなどで映像を探しやすいようにハングルをつけていますので、是非、ご活用ください。

★ 国学とは？

韓国では伝統音楽を「国楽(국악)」と言います。

国楽は大きく「正楽(정악)」と「民俗楽(민속악)」に分けられます。

正楽は宮中で祭祀、祭事時に演奏する「祭禮楽(제례악)」と兩班(양반)達の生活の中で好まれていた「風流音楽(풍류음악)」と「正歌(정가)」、主君や高官がお出ましの際に演奏する「鼓吹楽(고취악)」などがあります。

★ 民俗楽の種類

民俗楽は、庶民の哀歓音楽と言えます。

声楽曲は「パンソリ(판소리)」「短歌(단가)」「先ソリ(선소리)」「雑歌(잡가)」「民謡(민요)」、器楽曲は「散調(산조)」「シナウィ(시나위)」「風物(풍물)」「サムルノリ(사물놀이)」、また宗教音楽「梵唄(범패)」と「巫俗音楽(무속음악)」があります。



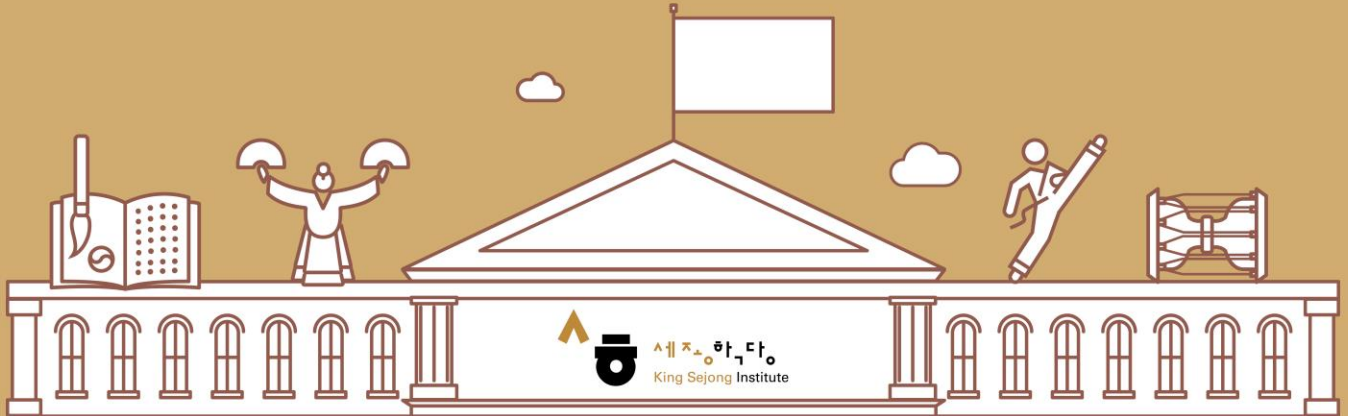
★ チャングについて

チャング(장구)又はチャンゴ(장고)という楽器を説明します。

役割は独立する楽器として演奏するより、他の楽器の演奏や歌の伴奏楽器として使用します。「サムルノリ(사물놀이)」「風物(풍물/プムル)」を演奏する場合は、独立する楽器としても演奏します。

特徴は、胴の中央部が細くくびれ「細腰鼓」とも呼ばれます。片側の打面「プクピョン(북편)」の皮は厚く、重くて低い音、反対側の打面「チェピョン(채편)」の皮は薄く、高い音を出します。

両方の皮を結ぶ紐には「テヨイゲ(조이개)又(プジョン(부전)」が付いていて、紐を張ったり緩めたりしながら、高低音を調節します。高低音を瞬時に調整できる事はチャングの優れた特徴でもあります。



★ チャングはいつ作られましたか？

高句麗古墳の壁画、新羅時代の梵鐘にはチャングの様な楽器があることから、三国時代には存在したとされています。「バチ(채)」を持つての演奏は千年くらい前からとされています。

★ 国楽で最も重要な要素の一つ「長短」

一楽曲が持つ固有のリズム形(rhythmic pattern)を指します。長短は、一定の速度のリズム形でチャングやプクが演奏します。大きく正楽と民俗楽の分け、正楽の長短は、各曲による基本長短を始めから最後まで、ほぼ変化なく一定に演奏します。それに比べて、民俗楽は音楽のノリ、奏者のノリにより、基本長短を保ちながらも変化に富み一層楽しくなるよう演奏します。



★ パンソリで使用する長短の例

「チニャン(진양)」
「チュンモリ(중모리)」
「チュンジュンモリ(중중모리)」
「チャジンモリ(자진모리)」
「フィモリ(휘모리)」
「オンモリ(엇모리)」
「オッチュンモリ(엇중모리)」

★ チュンモリ長短について

チュンモリはパンソリの長短の中ではチニャンの次に遅いリズムです。チュンモリは「中間速度で追い立てる」という意味です。

チュンモリ長短は12拍子で音を結ぶ場面では9拍目を強く打ち、「タヌンチャンダン(付ける長短)(다는 장단)」では、弱く打ったり、又打たなかったりします。さらに、3拍ずつを4刻に分けて打つときは「起、景、結、解」とします。

民謡の「アリラン(아리랑)」もチュンモリで歌うことが出来ますので、ゆっくりアリランを歌うとテンポがわかるかと思います。

★ 音の陰陽の配合

旋律が楽節により「起」「結」「解」の変化を音の陰陽の配合、或いは音の生死脈と称し、その生死脈による旋律の起伏を「起・景・結・解」とします。

音(歌や旋律)の生死脈により伴奏も音の変化させ「起・景・結・解」を作り出します。決まった楽譜は無く、即興で組み立て配合し演奏をしなければならないのです。この部分はとても大切ですが、理解するのがとても難しいです。チャング講座ではこのような基本をわかりやすく丁寧にご説明しています。

チャング講座では、民俗楽中心に大切な基本から理解し楽しめるようにお伝えしています。たくさんの方の参加をお待ちしています。